

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 4 月 17 日作成)

小委員会名	木造建築構法小委員会		主 査 名：堀江 亨 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会(構法計画運営委員会)		委員長名：布野修司 主 査 名：野城智也
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>木造建築構法に関する構法計画上の研究課題を推進する。具体的な目標は下記の通り。</p> <p>1) 木造建築における新しい技術や構法開発の情報収集 2) 在来および伝統木造建築の構法史的研究 3) 木構造の研究者との連携・共同研究あるいは研究の到達点に関する情報交換 4) 在来および伝統木造建築構法の性能の再評価と性能向上のための技術 5) アジアを中心とする海外の木造建築構法に関する情報収集</p> <p>年度計画は各項目逐次進行の予定。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり		
	<p>主査 堀江 亨(日本大学) 幹事 杉本 健一(森林総合研究所) 福濱 嘉宏(福濱嘉宏建築事務所) 委員 河合 直人(独立行政法人建築研究所) 木村 勉(長岡造形大学) 黒坂 貴裕(奈良文化財研究所) 黒田 泰介(関東学院大学) 後藤 治(工学院大学) 左海 冬彦(国土技術政策総合研究所) 藤田 香織(東京大学) 松留慎一郎(職業能力開発総合大学校) 源 愛日児(武蔵野美術大学) 村上 淳史(木構造計画) 山畑 信博(東北芸術工科大学) 吉田 倬郎(工学院大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	伝統木造構法WG(日本の伝統的木造構法の木造架構の変遷を調査、解明しようとする意図を持ちつつ、そのための基礎的なデータベースの作成を目的としている。)		
2008 年度予算	19,5000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)[ほかに構法運営委員会を 4 回実施]
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>1. 研究会 1 「長崎県対馬市における伝統木造構法の特性- 平柱を用いた架構法を中心として- 」,2008.7.16,参加者数 7 名</p> <p>2 研究会 2 「木造架構設計手法に関して」 2008.10.22,参加者数 6 名</p> <p>3. 研究会 3 「既存建物の活用事例紹介 東急電鉄のリファービッシュ住宅」, 2008.11.17,参加者数 21 名</p> <p>4. 研究会 4 「イギリス木造民家の架構類型と、部材用語の日英(欧)比較について」, 2009.1.24,参加者数 21 名</p>
大会研究集会	なし

対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ul style="list-style-type: none"> 1．研究会 1 により目的 2 に関して一定の達成度を得た。 2．研究会 2,3 により目的 1,2,4 が一定の達成度を得た。 3．研究会 4 により非アジア圏ではあるが目的 5 がある程度達成された。
委員会活動の問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> 1．目的が他項目に渡るため、年によって研究会テーマなどが偏りやすい。 2．海外の木造建築構法に関する情報収集は、今後、他の小委員会との連携も考えられる。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。